



広報

なかがすく

Nakagusuku



URL <http://www.vill.nakagusuku.okinawa.jp>

No. 130
2005. 1. 4

謹賀新年





子ども芸能 貫花 = 金城初枝琉舞道場



組踊り「護佐丸」



民俗芸能 和宇慶の獅子舞 = 和宇慶獅子舞保存会



展示部門 = 村民体育館

まむい ちじ さかてい
保存 継承 発展

第6回 中城文化まつり

で幕を開け、舞踊、琉球箏曲、太鼓、民謡、日本舞踊など日頃の練習の成果を披露しました。また、今年には和宇慶の獅子舞や津覇伝統芸能保存会による草刈り狂言など新しい民俗芸能も観客の目を引いていました。

初日は、沖縄県芸術祭の洋楽(ジャズ)部門も開催され、沖縄JAZZ協会(OJA)のヒックバンドのコンサートに古堅松枝さんをボーカルに迎え、日頃聞き親しまれているポピュラーを中心に素晴らしいステージをお送りしました。

最終日は組踊り「護佐丸」が演じられ、中城の魅力をつつりと紹介し2日間の幕を閉じました。

第6回「中城文化まつり」が11月20日・21日の2日間、保存・継承・発展(まむい・ちじ・さかてい)をテーマに吉の浦会館と村民体育館で開催されました。

展示部門では、児童生徒の書道や図画などの他、村内関係芸術家の作品も特別に展示されました。陶芸では與那覇朝大さん、池原盛治さん、仲村実さんの作品をはじめ、写真家の大城信吉さん、写真家でもあり画家でもある安里盛昭さん、漆芸家の宮城清さん、その他にも書道・生け花・木工など多くの作品が展示されました。

舞台部門では子供たちの古典音楽斉唱



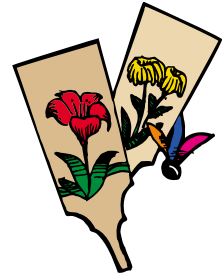
民俗芸能 草刈り狂言 = 津覇伝統芸能保存会



組踊り「護佐丸」 勝連城主阿麻和利との対決場面



沖縄県芸術祭洋楽(ジャズ)部門 出演：沖縄JAZZ協会



年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとございます。輝かしい新春を迎え、村民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年は皆様方のご理解とご支援により、各種の事務事業を推進することができ、ここに改めて敬意と感謝の意を表する次第でございます。

今地方自治をとりまく環境は、地方分権の推進や少子高齢化の進展、三位一体の改革に見られる地方財政の危機的状况など、激動と変革の最中にあります。

本村においては、琉球大学周辺の学園都市づくり、世界遺産・中城城跡の修復と公園整備、快適な生活環境づくりと公共下水道事業、恵まれた歴史、文化を活かす歴史の道整備、中城中学校の防音冷房設備や学校給食調理場の改築、大瀬線・伊舎堂前原線等の道路整備など、厳しい財政状況の中ではありますが、村民のご理解とご協力を仰ぎながら推進しております。

本村は今、合併問題や吉の浦発電所の平成十九年着工に向けた受け入れ態勢の整備など、大きな時代の転換期を迎えております。

北中城村との合併は、中・長期的に見て、両村の子供達や孫の時代に、きつと夢・誇り・自信につながる素晴らしい街づくりができるものと確信し、世界遺産としての名城・中城城をかすがいに、中城市の誕生が実現するよう力を尽くして参ります。

平成十七年が歴史的に飛躍・発展の年になりますよう、合わせて村民の皆様のご健勝を祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

平成十七年 元旦

中城村長 新垣清徳

迎春

新春を迎え 皆様のご健勝をお祈り申し上げます

議会議員 比嘉盛安
副議長 比嘉明典
他議員一岡

賀正

謹んで 新春のお慶びを申し上げます

助役 宮城清
収入役 比嘉正幸
教育長 仲座盈助
他職員一岡

沖縄県功労者

城間氏が受賞

中城村長として昭和41年から昭和51年まで3期を努め、村勢の発展に尽力。また、県議会議員を務めるなど沖縄復帰前後の激動の社会情勢のもと、本土との格差是正、経済の自立発展に尽力し、地方自治の伸張と産業の発展に貢献したとして、城間盛榮氏(しるま・せい)に、中城村北上原五八五が沖縄県功労者として表彰され、12月5日、若松プラザで受賞祝賀会が盛大に行われました。



眞榮城氏交通安全功労者で表彰

交通安全のお守り(貝がらを使った手作りのお守り)をプレゼントするなど、長年にわたり交通安全運動に貢献する活動が評価され、眞榮城千代子氏(まえばしちよこ)に中城村字奥間七六四(が)全日本交通安全協会長交通安全賞『緑十字銅章』を受賞しました。



平成17年度 保育所入所児童募集案内

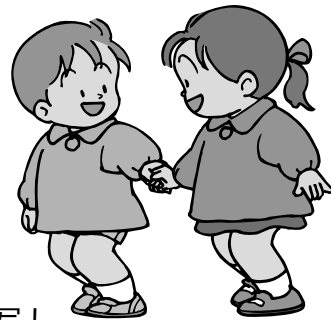
平成17年4月1日入所の保育児童(0才 生後6ヶ月以上 から小学校就学前) 障害児保育(集団保育可能な3才以上の児童)の入所受付を下記のとおり行います。現在入所している方、申込みの手続きをされていて、入所できなかった方も、再申込みが必要です。なお、母子家庭・父子家庭である方は、申込みのときに申し出て下さい。

※受付期間 1月5日(水)~21日(金)

※受付場所 中城村役場 健康福祉課

※申込みに必要な書類

- 保育所入所申込書
- 住民票謄本(世帯全員)
- 課税証明書(平成16年1月1日現在、中城村以外に住んでいた方は、前市町村からの課税証明書が必要です。)
- 平成16年分の源泉徴収票又は所得税確定申告書の写し



【お問い合わせ】中城村役場 健康福祉課 児童福祉係 電話 895-2131



民俗だより

第12号

中城村のカー(井泉)

「水」は、人間はもとより、あらゆる生物の命の源です。水の確保は、生き物にとって文字通り生死を左右する根源的な問題に違いありません。

水道が敷設され、普及するまでは、水を確保するために数々の苦勞を重ねてきました。湧泉や川から水を汲み取ったり、井戸を掘り当てて地下水を汲み上げたりするなど、人々は水のあるところを見つけ、暮らしを営み、集落をつくりました。その水は、早魃が続けば涸れることもあり、いつも使えるとは限りません。水を得るための苦勞というのは並大抵のものではなかったでしょう。

そのため、人々は昔から水に感謝し、泉や井戸などの水の出るところを拝所として祀ってきました。それは今日でも集落の祭祀や行事などに受け継がれています。

現在、私たちは水道の蛇口をひねれば容易に水を求めることができるため、普段はあまりありがたさを感じませんが、いざ断水となると、改めて水の大切さを実感します。

今回は、人々の生活を支えてきたこの井戸について紹介していきたいと思えます。

一、中城村内の井泉とその機能
井泉の名称には、その機能やそれにまつわる説話などからつけられたものが多いようです。

①ムラガー(村ガー)

一般に「ムラガー」と呼ばれるものは村落の共同井戸(井泉)のことをいいます。ムラガーは正月の若水としても利用されてきました。若水とは、元旦に初めて汲む水のことです。その水を仏壇にお供えし、また額につけて体を清め、そして若返りを願うといった習慣がありました。

中城村内のムラガーの中でも、安里のムラガー(下ヌカー)には、海石で出来たアーチ状の石積みが残っています。村内でもこのような形の井泉は数少ないものです。昔の人々は、湧水を大切にし、汚水が入らないように井戸の周辺を囲み、また屋根も付けるなど、水を清潔にする工夫をしていたのでしよう。



安里のムラガー

義本王代(一二四九〜一二五九)に、七ヶ月間の日照りが続いたという伝説がありますが、安里のムラガーは、その時も水が枯れることはなかったと伝えられています。

②ウブガー(産ガー)

「ウブガー」は、産まれた子供の産湯として、また額にウビナディ(お水撫で)するときに利用された井泉のことをいいます。地域によっては、特別に「ウブガー」があるわけがなく、「ムラガー」の水を利用するところもあります。また逆に、「ウブガー」から若水も汲むといったところもあります。

③インガー(犬ガー)

インガーとは、犬が発見したと言い伝えられている井泉で、中城では宇新垣のミージャーガーがよく知られています。これは、ミージャ(屋号)の犬が発見したためミージャーガーと呼ばれていたのですが、のちにミージャーガーと呼ばれるようになったといえます。若水などに利用されるほか、良質の水ということもあって、豆腐を作る際にも利用されました。



④語りガー

「語りガー」とは説話のある井泉のことです。安里のサキガー(酒ガー)が有名です。「遺老説伝」には佐久川として、次のような話が伝わっています。昔、安里村に漁師がいて、漁の帰りにいつもサキガーで手足を洗いました。すると必ず美女が現れ、酒をくれました。毎晩酔って帰る夫を不審に思った妻が、ある日、後をつけていくと、確かに酒壺がありました。ところが、中味は水に変わっていました。その後美女は現れなくなったということです。

⑤ヌールガー

「ヌールガー」は、神女(ノロ)の専用であったと伝わるカーをいいます。中城では伊集と津覇にみられます。そのうち、伊集のヌールガーは、伊集ノロが髪を洗ったカーと伝えられています。井戸のかたわらには、丸く窪んだ石が残っています。それでクチャ(土)を水に溶かし、髪を洗ったといわれます。



伊集のヌールガー



クチャを溶かしたといわれる石

⑥中城城跡内にある井泉

次に、中城城跡内にあるウフガー(犬ガー)について紹介します。ウフガーは、北の郭にある裏門の付近を下ったところから利用されていたといわれています。城跡内に中城村役場があった頃は、飲み水としてはもちろん、あらゆる面で利用されていた。城跡には、その他にもミートウガー(夫婦ガー)とよばれるカーがあります。そこは、早魃の時にも水が涸れることはなく、伊舎堂の人々がよく水を汲みに来たといわれます。



⑦北浜の仲松ガー(ナカマチガー)
北浜は、海岸沿いに形成された集落で、戦前は護岸もなく排水施設も普及していなかったため、大雨や台風の際には海水が流れ込むといったことが度々ありました。そのため、各家庭のほとんどの井戸水は海水が混ざって、飲み水として利用できませんでした。しかし、この仲松ガーは、海岸から離れた場所にあるため、このような被害を受けることは少なく、区民の多くが飲み水などはいつもそこから汲んでいました。また、若水や産水などにも利用されていました。

二、近代の水施設
区民は今でもそのカーに感謝し、旧暦一月二日のハチウビ(初御水)と十二月二四日のウガンブトウチ(御願解き)には、この井戸を拝んでいます。

明治二〇(一八八七)年、横浜市において日本で初めて水道施設ができました。沖縄では、昭和八(一九三三)年に、那覇市が泊浄水場を建設しました。しかし、沖縄戦により沖縄本島は壊滅的打撃を受け、水道施設もすべて破壊されました。戦後、沖縄は米軍の支配下におかれましたが、米軍は軍事基地の建設とあわせて、戦後復興にも補助金を出し、上水道の整備を進めました。中城村においては、昭和四十三(一九六八)年八月十日に水道の使用が開始されています。

現在、私たちは簡単に水を得ることができるようになり、それにとってもなっ水を使う量も急激に増えています。水を得るために先人たちが歩んだ苦難の歴史を知ることにより、もう一度、命を支える「水」について考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

中城村教育委員会生涯学習課
宮城早綾佳



中城村の家計簿

■ 村有財産の状況

村の借金
4,872,995千円

土地 264,209㎡

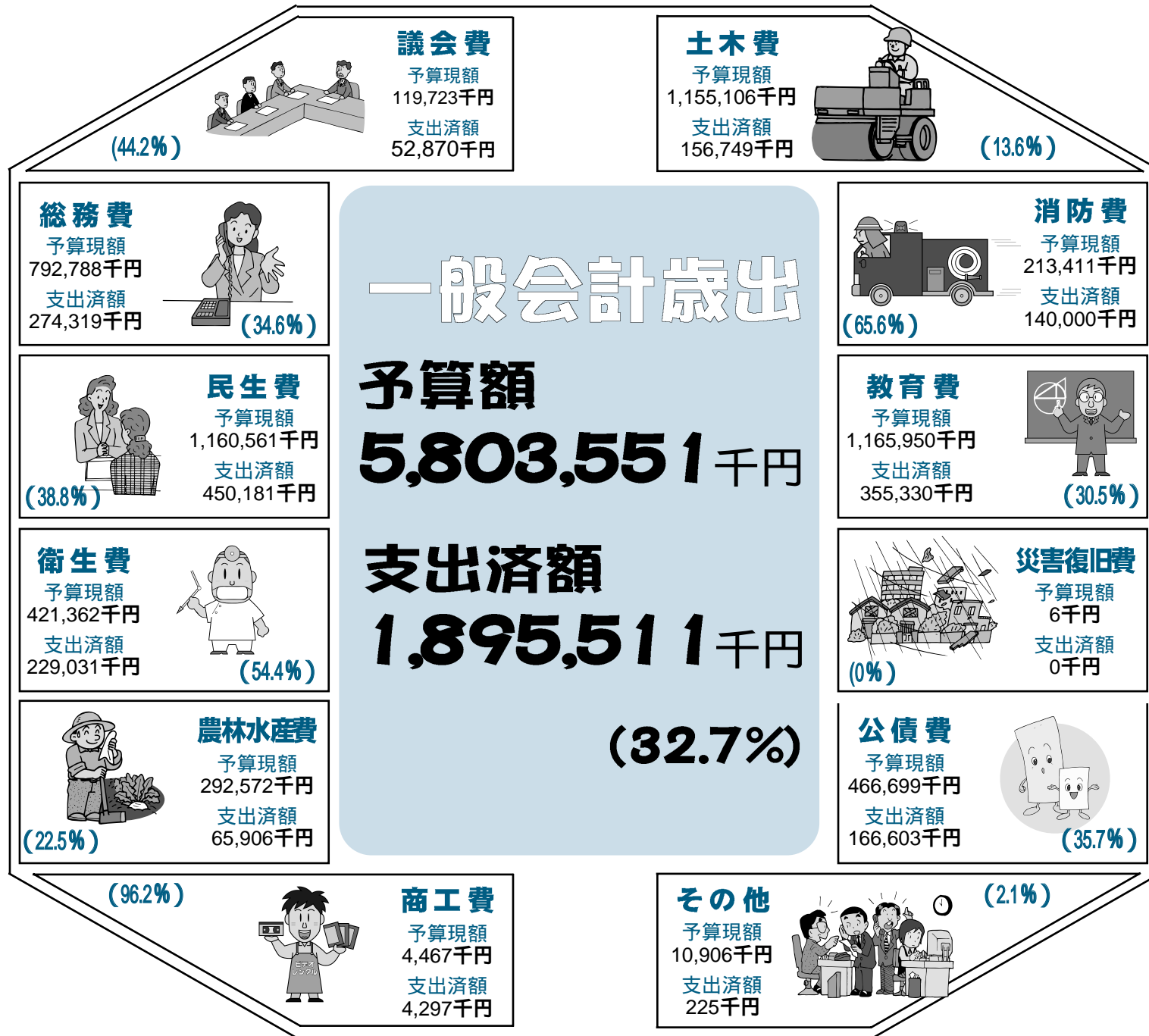
建物 30,553㎡

基金 1,120,347千円
有価証券 3,798千円

特別会計予算執行状況

(単位：千円)

会計名	予算現額	収入済額	支出済額	執行率
国民健康保険事業	1,705,633	774,651	762,294	44.7%
老人保健会	1,239,185	589,099	551,239	44.5%
土地区画整理会計	1,568,787	266,982	262,706	16.7%
下水道計	349,686	107,223	93,805	26.8%
水道	収益的収入	390,268	191,395	49.0%
	収益的支出	384,248	126,580	32.9%
事業	資本的収入	91,501	0	0%
	資本的支出	119,365	10,240	8.6%



中城村告示第32号
中城村の財政事情書の作成及び公表に関する条例に基づく平成16年度上半期の財政事情を別紙のとおり公表します。
平成16年11月29日
中城村長 新垣清徳

中城村の財政事情の公表
「財政公表」は、村の財政がどのように運営されているかを知っていただくために、年2回公表されるものです。ここでは、村予算の歳入歳出執行状況を中心に、村有財産の状況などが明らかにされています。
今後とも村民のみなさんの村政へのご理解とご協力をお願い致します。

一般会計収入

(収入済額)

村地方譲与税	740,778千円
地方交付金	31,673千円
利子割交付金	1,163千円
配当割交付金	219千円
株式等譲渡所得割交付金	1千円
地方消費税交付金	67,633千円
ゴルフ場利用税交付金	14,231千円
自動車取得税交付金	5,476千円
地方特例交付金	26,668千円
地方交付税	923,738千円
交通安全対策特別交付金	884千円
分担金及び負担金	784千円
使用料及び手数料	28,091千円
国庫支出金	105,236千円
県支産出金	19,989千円
財産収入	771千円
寄附金	0千円
繰越金	0千円
繰上金	337,554千円
雑収入	5,275千円
債権	0千円
一時立替金(他会計へ)	-180,000千円
計	2,130,164千円
予収入	5,803,551千円
比率	36.7%

平成16年度上半期(9月末現在)の財政状況

()内は執行率



コールセンター入門講座 | N宜野湾

日時：平成17年1月17日～31日 平日のみ11日間
 時間：10時～16時
 対象：県内在住の45歳くらい迄の求職者でコールセンターに就職を希望する方。
 会場：宜野湾ベイサイド情報センターG-wave (宜野湾市宇字地泊558-18)
 内容：コミュニケーションとパソコン基本操作の両方を実践的に学び、コールセンター業務の基礎知識を短期間で習得・スキルアップすることができます。
 受講料：無料
 申込：所定の申込用紙に記入の上、テレ・ビジネス人材育成センターまでFaxして下さい。
 Fax：941-0281
 なお、申し込みは会場および宜野湾市産業振興課(宜野湾市役所新館2F)でも受け付けております。
 締切：平成17年1月12日 17時まで
 説明日：平成17年1月13日予定
 【お問い合わせ】
 テレ・ビジネス人材育成センター
 TEL 860(2561) Fax 941(0281)
 http://www.telebiz.jp

平成15年分の課税売上高が
 一千万円を超えた個人事業者
 の方は平成17年分から課税事

税務署からのお知らせ 一千万円を超えていませんか？

今月は自動車税滞納整理強化月間です！

沖縄県では、平成16年11月16日から平成17年2月15日までの3ヶ月間を「自動車税滞納整理強化月間」と定め、自動車税の滞納の一掃に努めています。催告をしても納めない方には、財産の差し押さえを行っています。まだ納めていない方は、今すぐお近くの銀行、農協等で納めてください。
 【お問い合わせ】
 自動車税事務所・各県税事務所まで



お知らせ

〒186-8001
 東京都国立市富士見台2-36
 042(572)3151
 Fax 042(574)1006
 http://www.n-gaku.jp

《個人事業者の具体例》

定休日週1日の場合
 1日の平均売上高が32,000円以上ありましたら、年間売上高は1,000万円程度となります。
 $32,000円 \times 313日 = 10,016,000円$
 1日の売上高 営業日数 年間の売上高

* 記帳の仕方や消費税のしくみ等について分かりならない点がありましたら、お気軽に税務署までご相談ください。

【お問い合わせ】

沖縄税務署

(938)0040

個人課税第一部門



案内・お知らせ

募集

中部農林高校 特別募集と編入学生募集

特別募集

中学校を卒業後、高校進学の機会がなかった勤労者に対して高校教育を受ける機会を与えようとする制度で学力検査が免除になります。

出願資格
 勤労者で満20歳(平成17年3月31日現在)以上の者
 出願手続
 出身中学校からの入学志願書及び調査書、卒業証明書、入学考査料、健康診断書、就業証明書、その他必要書類を添えて手続すること
 出願期間
 平成17年2月7日～8日
 受付時間
 2月7日…9時～17時
 2月8日…9時～16時
 検査期日
 平成17年3月9日
 作文と面接があります
編入学生
 高校を中途退学した方に、再就学の機会が与えられる制度で

す。就学していた高校での修得単位も認められ、卒業に必要な74単位を修得すれば3ヶ年でも卒業が可能です。
 出願資格
 高等学校を退学し、10単位以上修得している者
 出願手続
 受付期間前にお問い合わせ下さい
 受付期間
 平成17年2月1日～4日(予定)
 体験入学
 平成17年2月9日～22日
 【お問い合わせ】
 中部農林高校定時制
 (973)3578
 担当 稲田・鈴木

コザ高等学校 定時制特別募集

応募資格
 勤労者で平成17年3月31日現在で20歳以上の者
 出願期間
 平成17年2月7日(月)
 9時～17時
 平成17年2月8日(火)
 9時～16時

泊高校通信制課程 前期生徒募集

入試期日
 平成17年3月9日(水)
 1時～3時 作文・面接
 【お問い合わせ】
 コザ高等学校定時制課程
 (937)3563

泊高校通信制課程では、平成17年度の生徒募集を行います。
 本校は、毎週日曜日または月曜日に授業(スクリーニング)を受け、課題(レポート)を出して単位を取得していきます。現在10代から70代までの生徒が頑張っています。来年度の前期募集要項を配布していますので希望の方はお問い合わせください。
 受付期間
 転編入学
 平成17年1月27日～28日
 一般特別
 平成17年2月15日～18日
 【お問い合わせ】
 〒900-8610
 那覇市泊3-19-2
 (868)1237
 Fax (868)0618

放送大学生募集

15歳以上であれば誰でも無試験で入学でき、生涯学習の中核をなす正規の通信制大学です。
 《出願期間》
 * 学部学生(教養学部)
 * 大学院学生(修士科目目生)
 * 大学院学生(修士選科生)
 平成16年12月15日～
 平成17年2月28日

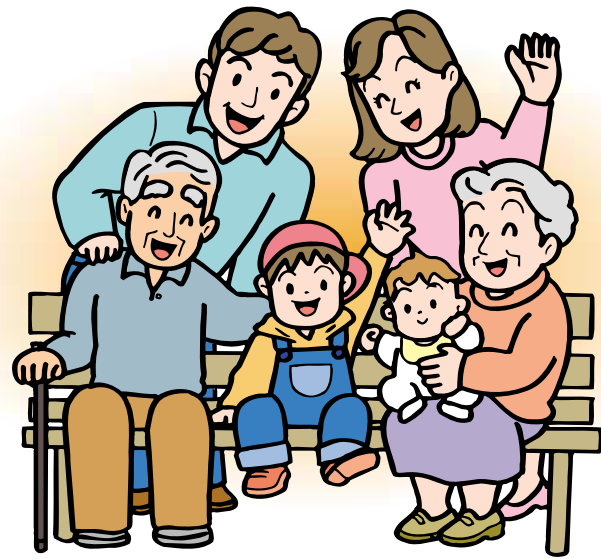
【お問い合わせ】

放送大学沖縄学習センター
 (琉球大学内地域国際学習センター棟4F)
 (895)5952
 Fax (895)5953
 http://www.u-air.ac.jp/hp

製造事業所の皆様へ

統計調査にご協力下さい

平成16年工業統計調査を12月31日現在で行います。調査の実施に当たっては、12月から1月にかけて調査員がお伺いします。なお、調査票に記入して頂いた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確なご記入をお願いします。
 経済産業省 沖縄県 中城村



村・県民税と所得税の申告は

2月16日から3月15日までです。

平成十七年度の村・県民税と平成十六年分の所得税の申告が二月十六日(水)から始まり、期限間近となりますと、大変混雑し、長時間お待ちいただくことになりかねません。申告書はできるだけご自分で書いて、お早めに提出して下さい。

てない方。
 ③平成十六年中に退職し、現在就職していない方。
 ④給与所得のほかに二十万円以内の他の所得があった方。

村・県民税の申告をする人

- ① 平成十七年一月一日現在、中城村内に住んでいる人で、平成十六年中に次のような所得があった方。
- ② 営業、農業、その他の事業で所得があった方。
- ③ 給与所得者で、勤務先から給与と報告書が提出され

所得税の確定申告をする方

- ① 事業をしている方、不動産収入のある方、土地や建物を買った方などで、平成十六年中の所得金額の合計額が配偶者控除などの所得控除を超える方。
- ② 給与所得者で年収が二十万円を超える方。
- ③ 給与所得者で給与以外の所得の合計額が二十万円を超える方。
- ④ ニケ所以上から給与をもらっている方。

1 土 11月21日 先勝	22 土 12月13日 赤口
2 日 11月22日 友引	23 日 12月14日 先勝
3 月 11月23日 先負	24 月 12月15日 友引
4 火 11月24日 仏滅	25 火 12月16日 先負
5 水 11月25日 大安	26 水 12月17日 仏滅
6 木 11月26日 赤口	27 木 12月18日 大安
7 金 11月27日 先勝	28 金 12月19日 赤口
8 土 11月28日 友引	29 土 12月20日 先勝
9 日 11月29日 先負	30 日 12月21日 友引
10 月 12月1日 赤口	31 月 12月22日 先負
11 火 12月2日 先勝	1 火 12月23日 仏滅
12 水 12月3日 友引	2 水 12月24日 大安
13 木 12月4日 先負	3 木 12月25日 赤口
14 金 12月5日 仏滅	4 金 12月26日 先勝
15 土 12月6日 大安	5 土 12月27日 友引
16 日 12月7日 赤口	6 日 12月28日 先負
17 月 12月8日 先勝	7 月 12月29日 仏滅
18 火 12月9日 友引	8 火 12月30日 大安
19 水 12月10日 先負	9 水 1月1日 先勝
20 木 12月11日 仏滅	10 木 1月2日 友引
21 金 12月12日 大安	11 金 1月3日 先負

行事日程は、変更することがありますので、あらかじめ確認してからお出かけください。

中城村の人口

平成16年11月末現在

人口	15,587 (+18)
男	7,964 (+4)
女	7,623 (+14)
世帯数	5,316 (+16)

()内は前月との比較



【お問い合わせ】
 中城村役場 生涯学習課 895-3707

日時：1月9日(日)
 午後2時～
 場所：吉の浦会館
 (受付：午後1時)

中城村成人式

【税に関するお問い合わせ】

中城村役場税務課
 89521131
 沖縄税務署
 9380038

申告受付場所

2月27日(日)	2月25日(金)	2月24日(木)	2月23日(水)	2月22日(火)	2月20日(日)	2月18日(金)	2月17日(木)	月日	午後
未申告者	北上原	登又 サンヒルズ	泊・県営 地・第二団地	当間 屋宜	未申告者	津覇 浜	伊集 和宇慶	9時	午後
	南上原	新垣	久場	添石 伊舎堂		奥間 安里	南浜 北浜	12時	午後
								4時	午後

村・県民税

申告受付日程



むらの話題 Topics

11月26日 いつまでも元気で長生きしてね♪

村内に住む一人暮らしのお年寄りを対象として11月26日、吉の浦会館で社会福祉協議会による願寿者交流会が催された。

第三保育所の園児によるかわいい演舞に参加者等は喜んでおり、また、「いつまでも元気で長生きしてね」と書かれた首飾りのプレゼントとかたもみのサービスも受け楽しい一時を過ごした。

また、最近お年寄りを狙った悪質な犯罪が多いことから、民生委員によるオレオレ詐欺対策の演劇も行われ、おかしな電話があれば周囲に相談するなどの対策をとるように説明した。

その他、老人クラブの踊りや民謡などで会は盛りあがった。



11月26日 南米との架け橋に 研修修了式を開催

9月6日にスタートし約3ヶ月間の研修を終えた3名の研修生、上原かおりパトリシアさん(ブラジル、伊舎堂)、新垣シンティアパオラさん(アルゼンチン、伊舎堂)、新垣リカルドさん(ペルー、津覇)の研修終了式が11月26日、吉の浦会館で行われた。

3名は、日本語研修を終えたあと、コザ信用金庫、JA中城支店や株式会社オーシーシー等で研修を行った。また、三味線や太鼓、舞踊など沖縄の文化も習い、修了式ではその成果も披露した。

上原かおりさんは、ブラジルでも舞踊を習っており、沖縄のレベルの高さに驚いたが自分の腕を磨くことができた充実感たっぷりに話した。また新垣シンティアさんは沖縄の家族という宝をもって帰りたいと、新垣リカルドさんも両親の古里沖縄で研修ができた事に感謝した。3名は今後母国と沖縄、中城との架け橋になることが期待される。



右から上原かおりパトリシア=ブラジル、新垣リカルド=ペルー、新垣シンティアパオラ=アルゼンチン

11月23日

ロボットコンテストで特別賞受賞

学生の工夫創造の育成を図ることを目的に第5回創造アイデアロボットコンテスト沖縄県中学生大会が11月23日行われ、中城中学校のロボット「メガネイグル」が特別賞を受賞した。

ロボットを製作したのは、渡名喜一穂さんと屋良翔太くん。おもりのついたフィルムケースをいかに速く多く運ぶかを競うゲームで、「メガネイグル」はケースを挟む場所をたくさんつけて、一気に運ぶ点が優れていると評価された。渡名喜くんは、「何度も改良を積み重ね製作に半年かかった。ロボットを動かす練習時間があれば・・・と悔しさをみせたが、作品の完成度には満足している様子でした。」



「メガネイグル」を操作する渡名喜くん

11月13日 恒久平和を誓う 一村慰霊祭を開催



去る沖縄戦から59年の歳月が経ち、すべての人々の平和を願う村慰霊祭が11月13日慰霊の塔で執り行われ、村遺族会を始め多くの関係者が参加した。

新垣村長は「戦争は人権の尊重とは反する行為であり、今日のイラク戦争で多くの命が奪われていることに心が痛む。戦争の悲惨さを風化させることなく、後世に平和の尊さを伝えていきたい」と御霊に恒久平和を誓った。

また、児童を代表して比嘉慎二くん(中城中学校)は「平和学習をとおして戦争とは平和とは、を改めて考えた。悲惨な戦争を体験した沖縄だからこそ自分たちが行動をおこしていかなければならない。"命どう宝"のメッセージを全世界に発信したい」とあいさつした。

12月9日

花と緑のふれあい 広場を活用しよう

花と緑のふれあい広場等活用資金づくりとして12月9日、村商工会はものまねライブショーを吉の浦会館で開催した。会場には500人を超える観客が詰めかけ賑わった。ショーは魅川憲一郎さん・斉藤京子さん・瀬川瑛理子さんらが本物をこえたおもしろさでステージを盛り上げた。商工会では、ライブショーに先立って花と緑のふれあい広場でイルミネーションの点灯式を行い、休日には家族連れやカップルが訪れていた。今後、広場でイベント等を積極的にを行い、村内の多くの人に中城村をアピールしていく計画。



シヤルウイダンスーN中城



12月4日、毎年恒例のチャリティーダンスパーティー（主催：かたいこつめきにして中城で楽しむ会）が行われ、村内外から百名余が参加し会場を埋め尽くした。ダンスに加え中城がピュラーオーケストラによる生バンドやピアノとベースの美しいハーモニーが特徴のバンドHIROPIKOの音楽などで会場は楽しい一時となった。「いろんなジャンルの音楽にあわせてダンスを楽しんでいます」と参加した方は話した。

比嘉紗彩(中城中2年)さん「筆都大賞」受賞



中城中学校の比嘉紗彩さん(2年)が書写のワールドカップ大会で全国から40万点近くの作品の応募の中から見事「筆都大賞」に入賞した。比嘉さんは小学校一年生の頃から書道を習っており、これまでも様々な賞を受賞する腕前。今後の活躍が期待されます。

中城中男子優勝

中頭地区駅伝大会



11月6日、中頭地区中学校駅伝大会が開催され、中城中学校男子が見事優勝を勝ち取った。記録は20*1時間07分20秒。また、女子は12*45分43秒で3位という結果でした。区間賞は新垣大地さん、仲村渠友弥さん、知念美和さん、大城愛子さん、新垣えりかさんの5名。11月20日に行われた県大会に出場し、男子5位と健闘した。

フォトニュース



各支部の活動を報告

12月12日、村子ども会発表会が吉の浦会館で行われた。奥間子ども会の安里利祥くんは「子ども会のリーダーとして下級生をまとめるのは大変だったが、やりがいがあった。これからも活動を続けたい」と話した。その他、各支部とも方城町の児童との交流や夏休みのキャンプなど子ども会活動を通しての思い出を発表。舞台発表ではエイサーやダンス、合唱など5・6年生を中心に日頃の練習の成果を披露した。

区民で祝う 添石・伊舎堂

12月5日、添石と伊舎堂で敬老会が行われた。それぞれの会では、73歳以上の長寿者62名(添石)59名(伊舎堂)を祝おうと多くの区民が集まり、舞踊や民謡など余興を楽しんだ。また添石では学事奨励も行われ、新垣幸枝校長(中)は「区民の皆さんが教育に熱心であることに感謝します」とあいさつした。

